

一般社団法人ドレスト光子研究起点設立記念シンポジウム  
「ドレスト光子をどう攻めるか、使うか？」

開催日 2017年11月6日(月)

開催場所 日亜化学工業(株)横浜技術センター

13:30~13:50	開会の辞: RODreP が今日にいたるまで 宮原諄二 RODreP 顧問、イノベーションファクター研究会
13:50~14:15	これまでの DP 研究と将来: RODreP がめざすこと 大津元一 RODreP 代表理事、東京大学
14:15~14:40	(招待講演) CG で可視化・映像化することの意義 ー自然現象からドレスト光子までー 菊池司 東京工科大学 准教授
14:40~15:05	ドレスト光子と社会の接点 納谷昌之 RODreP 理事、富士フイルム株式会社
《休憩》(15分)	
15:20~15:45	(招待講演) ドレスト光子のための応答理論 ー非共鳴条件、光学フォノンの大切さー 坂野斎 山梨大学
15:45~16:10	ドレスト光子の理解にむけて ”時空の渦力学“が導く仮想光子モデル 佐久間弘文 RODreP 理事
16:10~16:50	共同研究の所信講演 (オフィシャル科学共同研究補助金受賞者) ・量子確率論および量子ウォークの数理を活用したドレスト光子研究・オフィシャル科学の構築 (西郷甲矢人) ・ドレスト光子への代数的量子場的・測定理論アプローチ (岡村和弥) ・作用素環論、スペクトル理論に基づくドレスト光子:運動量空間での特徴づけ (安藤浩志)
16:50~17:15	(総括講演) 量子場として見たドレスト光子:運動量空間での特徴づけ 小嶋泉 RODreP 顧問
17:15~17:20	閉会の辞 大津元一 RODreP 代表理事、東京大学

●終了後、立食形式の懇親会(無料)を予定しています。